

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
健康行動科学特論	2単位30時間(15コマ) 講義科目	博士前期1年次 通年開講	☑・不可
科目責任者	安永 明智		
担当者	安永 明智、中村 正和 (非常勤・地域医療振興協会へき地医療研究センター)、 赤松 利恵 (非常勤・お茶の水女子大学)		
1. 科目のねらい・目標			
<p>【ねらい】健康課題に関する講義・討論・発表などを通して、人々の健康に関わる行動を決定づける要因と理論的背景への理解を深め、行動変容を促すための効果的な教育・環境・政策的アプローチに関して考察する。</p> <p>【目標】個人及び集団における行動変容に関わる諸理論を理解した上で、具体的なアプローチを考案することができるようになる。</p>			
2. 授業計画・内容			
<p>Part I 【中村正和】(1) ～ (6)</p> <p>1回：ヘルスプロモーションとは？</p> <p>2回：ポピュレーションアプローチとは？</p> <p>3回：喫煙による健康被害とその背景</p> <p>4回・5回：喫煙の行動変容に向けた教育的アプローチ</p> <p>6回：喫煙の行動変容に向けた環境的アプローチ</p> <p>Part II 【赤松利恵】(7) ～ (12)</p> <p>食生活改善について、行動学視点にたつて、教育的および環境的アプローチの両面から学ぶ。</p> <p>1・2回：栄養教育と行動科学</p> <p>3・4回：食行動変容に向けた教育的アプローチ</p> <p>5・6回：食行動変容に向けた環境的アプローチ</p> <p>Part III 【安永明智】(13) ～ (15)</p> <p>身体活動の活性化、座位行動の減少のに向けた行動科学的アプローチを学ぶ。</p> <p>1回：身体活動、座位行動と健康の関連</p> <p>2回：身体活動の活性化、座位行動の減少に向けた教育的アプローチ</p> <p>3回：身体活動の活性化、座位行動の減少に向けた環境的アプローチ</p>			
3. 教科書、参考書			
各担当から、適宜、参考書などを紹介する。			
4. 成績評価方法			
演習 (30%)、プレゼンテーション (40%)、レポート (30%) などを勘案して、総合的に評価する。			
5. 受講要件			
特になし。			
6. 社会人学生に対する配慮			
双方向型の完全オンライン授業、あるいは対面とオンラインを組み合わせたハイフレックス型での授業を予定している。			
7. その他			
オンデマンドでの後日受講も可能です。オンデマンド受講の場合、提出課題などは各教員が別途指示します。			